

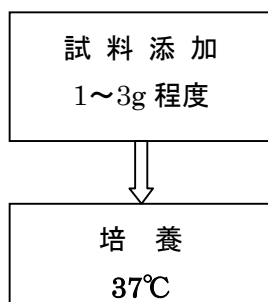
黄色ブドウ球菌用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

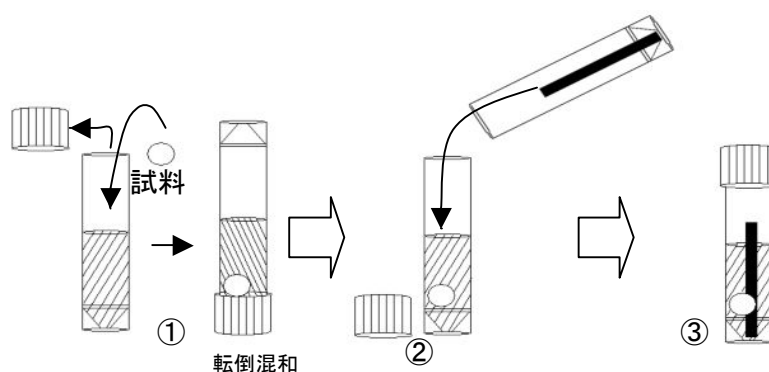
この SensiMedia は、黄色ブドウ球菌を表皮ブドウ球菌や腸球菌から分離して検出できるようにしたものです。

2. 検査の手順



試料添加

- ① SensiMedia のキャップを開け、試料を 1~3g 程度を添加します。その後、転倒混和させます。
- ② センサー側のキャップを開けセンサーを直接 SensiMedia に入れます。
- ③ キャップを締めて、インキュベーターに入れます。



培養温度

37℃で培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される微分生物を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。36 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、一般的な黄色ブドウ球菌は陰性と判断できます。陽性のときは、センサーが黄色透明になります。

参考) 検出された菌により液体培地の色が異なります。

黄色ブドウ球菌のみでセンサーが反応した場合は黄色に、表皮ブドウ球菌のみで反応した場合はオレンジ色になります。

液体培地の色	黄色	: マンニットを分解する黄色ブドウ球菌
	褐色オレンジ	: マンニット非分解の表皮ブドウ球菌

SensiMedia SML005 黄色ブドウ球菌用
検出特性[37℃培養]

